

遊離トリヨードサイロニン(FT3)		1101500		
		担当部署		
FT3		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部		
測定時間		当日中~翌日		

生物学的基準範囲		2.3～4.0 pg/mL エクルーシス 試薬 FT3III添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	pg/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
2.3	4	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>甲状腺ホルモン(T3、T4)は血中ではほとんどが結合蛋白(主に TBG) と結合している。トリヨードサイロニン(T3)において、遊離型(FT3)は総 T3 のほぼ 0.2～0.3%であり、遊離型のみ生理活性をもつ。</p> <p>また甲状腺ホルモンの中で T3 は最も強い活性がある。</p> <p>従来は FT3 自体の測定が困難であったが、近年では容易になり、自己抗体の影響を受けない測定法も開発されている。</p> <p>また FT3 を測定することは TBG の影響を受けないので、TBG 異常症患者の甲状腺機能の把握に有用である。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 23+P328</p>				